

JR鹿児島中央ビル



外観

JR九州「鹿児島中央駅」西口に直結する商業・オフィス複合ビル。建物入口のシンボルとなる柱は、行き交う人の流れや景色のうつろいを映し込み、遊歩道と建物にみずみずしさをもたらせている。



AMU WE 2F
トイレ入口

1～3Fは商業施設「AMU WE(アミュウィー)」。2Fトイレには、男性トイレ、女性トイレ、バリアフリートイレ、授乳室を配置。各トイレには、離れた場所からもわかるよう、突き出しサインを掲示している。



AMU WE 2F
バリアフリートイレ

2Fバリアフリートイレには、車いす使用者やオストメイトに配慮して、汚物流しを備えたコンパクトバリアフリートイレパックを設置。ダークブラウンの内装材を採用し、落ち着いた空間となっている。



AMU WE 2F
女性トイレ 洗面コーナー

窓側に設置した洗面コーナーは、自然光が差し込む明るい空間。背面には、スタイリングコーナーが設置され、下段の棚に荷物を置いて、ゆっくりとお化粧直しができるように配慮されている。



AMU WE 2F
男性トイレ
小便器・洗面コーナー



洗面コーナーには、手洗い後の水を垂れを抑えるため洗面器の間にクリーンドライを設置。小便器は、シンプルなデザインと節水性能が両立した壁掛型の自動洗浄小便器を採用している。



AMU WE 2F
男性トイレ 大便器ブース



大便器ブースの間仕切り壁を天井まで立ち上げ、防犯対策を図るとともに個室感も高めている。大便器には、清掃性に配慮した壁掛大便器セット・ラッシュタンク式と、ウォッシュレットアプリコットPを採用している。



AMU WE 2F
男性トイレ
ひろびろブース

バリアフリートイレへの利用集中を避けるため、ベビーカーごと入ることが可能なひろびろブースを、男女トイレともに1ヶ所ずつ設置。ベビーシート、ベビーチェアとフィッティングボードを備えている。



AMU WE 3F
男性トイレ
洗面・小便器コーナー



3Fトイレは、ベージュグレーの内装材を採用したスタイリッシュな空間。小便器には、プライバシーに配慮し仕切りを設置。足元には、尿の飛散によるにおいや汚れを軽減するハイドロセラフロアPUを採用している。



AMU WE 3F
女性トイレ
洗面・
スタイリングコーナー



洗面コーナーには、手荷物が濡れずに置けるツインデッキカウンターを採用し、個別鏡を設置。手荷物が置ける棚を取り付けたスタイリングコーナーには、数人が同時に化粧直しができるように、全面鏡を採用している。



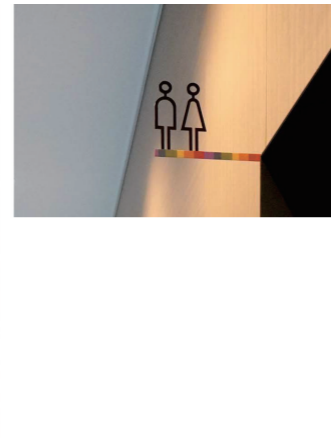
AMU WE 3F
女性トイレ
ひろびろブース



最奥のひろびろブースは、ベビーカーが入りやすいように引戸を採用。2Fトイレと同様に、ベビーチェア・ベビーシートなどのお子様連れに配慮したアイテムを設置している。



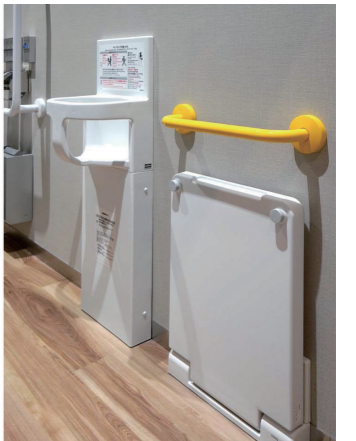
AMU WE 3F
みんなのトイレ



3Fには、男性トイレ、女性トイレ、バリアフリートイレとは別に、だれでも利用できる「みんなのトイレ」を設置。入口には、性的マイノリティへの配慮を生かしたデザインのサインを掲示している。



AMU WE 3F
みんなのトイレ



「みんなのトイレ」内には、小さなお子様連れに配慮として、ベビーシート、ベビーチェア、フィッティングボードを備え、さらに、ベビーカーごと入ることが可能なスペースも確保している。

JR鹿児島中央ビル



オフィスフロア 4F
女性トイレ
スタイリングコーナー



オフィスフロアの女性トイレには、昼休みの混雑緩和に配慮して、洗面コーナーと別に菌みがきコーナーとスタイリングコーナーを設置。スタイリングコーナーの照明は、お化粧直しがしやすいように設計されている。



オフィスフロア 4F
女性トイレ
洗面・大便器コーナー



ブラウン系木調の内装材を採用した、落ち着いた空間。洗面コーナーには、非接触で手洗いができる自動水栓と水石けん供給栓を採用。また水濡れを抑えるため洗面器間にクリーンドライを設置している。



AMU WE 2F
トイレ図面

商業施設2Fトイレは、共用廊下から順番にバリアフリートイレ、授乳室、男性トイレ、女性トイレを配置している。



オフィスフロア 4F
女性トイレ
ひろびろブース



1ヶ所をひろびろブースとしてスペースを広く設け、手すりとストックの履き替えなどに使用できるフィッティングボードを設置している。



オフィスフロア 4F
男性トイレ
小便器コーナー・
大便器ブース



小便器間の木目調仕切板が、空間のアクセントになった小便器コーナー。すべての大便器にウォシュレットを設置し、ボタンを押すたびに発電し、電源工事や乾電池の交換が不要なエコリモコンを採用している。



AMU WE 3F
トイレ図面

商業施設3Fトイレは、女性トイレに隣接してバリアフリートイレを設置。また、性別を問わずだれでも使用できる「みんなのトイレ」を、各トイレとは別途に配置している。



オフィスフロア 4F
バリアフリートイレ入口・
給湯室

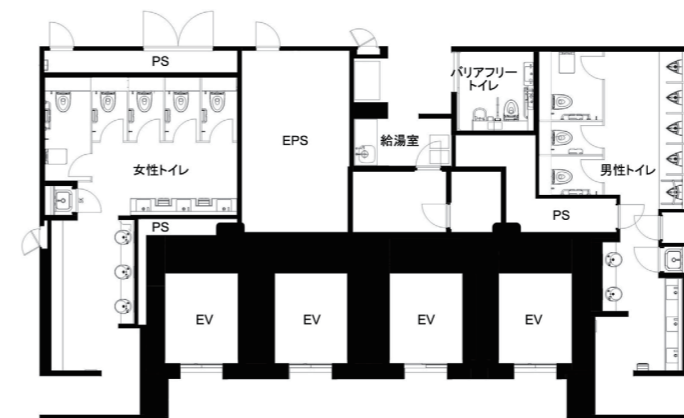


すべてのオフィスフロアに、バリアフリートイレを設置。ドアは引戸を採用。隣接した給湯室には、ワーカーへの配慮として熱湯用の水栓と洗い物用の水栓を完備した流しを設置している。



オフィスフロア 4F
バリアフリートイレ

すべてのオフィスフロアに設置されたバリアフリートイレには、車いす使用者や、オストメイトに配慮した汚物流しを備えたコンパクトバリアフリートイレパックを採用している。



オフィスフロア 4F
トイレ図面

4～10Fのオフィスフロアには、各階に男性トイレ、女性トイレとバリアフリートイレを設置している。

水まわりの特長

建物の特徴

「JR鹿児島中央ビル」は、鹿児島中央駅西口地区開発事業として竣工した複合施設。鹿児島の新しい交流と賑わいの創出、魅力溢れる都市空間の創出をコンセプトとし、1～3Fは商業施設「AMU WE」、4～10Fは1フロア面積が県内最大級のオフィスフロアを構築した。ビルは鹿児島中央駅と2Fデッキで直結させ、雨に濡れずにアクセスできるなど利便性を高めている。さらに、ビルの歩行者空間には植栽やベンチを設け、周辺環境や景観と調和のとれたまちづくりを目指した。オフィスフロアは、多様な働き方に対応して4Fにオフィスワーカー専用ラウンジを設置。また、CASBEE新築、CASBEEウェルネスオフィスともにAランク、ZEB Orientedを取得するなど環境に配慮した取り組みを積極的に行っている。

トイレの特長

商業フロアのトイレは、年齢や性別、身体状況などを問わず、快適に利用いただけるよう各階に男女トイレ、バリアフリートイレを設置。また、車いす使用者、オストメイトを対象としたバリアフリートイレへの利用集中を避けるため、男女トイレには各1ヶ所ひろびろブースを設け、乳幼児連れが安心して利用できるよう配慮。さらに、2Fに授乳室、3Fに性的マイノリティに配慮した男女共用トイレを設置。また、ビル周辺の緑豊かな歩行者空間を連続させた内装デザインによって、やすらぎの空間となった。オフィスフロアのトイレは、すべての階に男女トイレとバリアフリートイレを設置。男女トイレともにひろびろブースの設置や洗面コーナーと菌みがきコーナーも設けるなど、快適に利用できるトイレ空間を実現している。

建築概要

| | |
|-------|------------------|
| 名称 | JR鹿児島中央ビル |
| 所在地 | 鹿児島県鹿児島市武1-2-10 |
| 施主 | 九州旅客鉄道株式会社 |
| 設計 | 清水建設株式会社一級建築士事務所 |
| 施工 | 清水・九鉄特定建設工事共同企業体 |
| 竣工年月 | 2023年3月 |
| 敷地面積 | 6,485.07㎡ |
| 建築面積 | 4,186.99㎡ |
| 延床面積 | 31,616.07㎡ |
| 構造・階数 | 鉄骨造・地上11階 |

おもなTOTO使用機器

| |
|---|
| 壁掛大便器セット・フラッシュタンク式:UAXC3CLN |
| ウォシュレットアプリコットP(擬音装置「音姫」付きエコリモコン):TCF5830AUS |
| ウォシュレットアプリコットP(温風乾燥付きエコリモコン):TCF5840AUPN |
| 棚付二連紙巻器:YH701 |
| 自動洗浄小便器:UFS900WR |
| 小便器用手すり:T112CU22 |
| ハイドロセラ・フロアPU:AB690E |
| ツインデッキ・カウンター(ボウル一体タイプ):MKWE |
| 壁掛ハイバック洗面器:LSH125EB |
| 菌みがき器:L595 |
| クリーンドライ(ハンドドライヤー):TYC420W、TYC320W |
| コンパクトバリアフリートイレパック:UADAK21R1A1ADD1WA、UADAK21L1A1ADD1WA |
| ペーパーシート:YKA25S |
| ベビーチェア:YKA15S |
| フィッティングボード:YKA41R |